

IV. 浜マルシェ青空市場マーケットリサーチプロジェクト

アジェンダ

1. 大阪湾の現状
2. 岸和田地蔵浜マルシェ構想
3. 泉佐野青空市場 浜の賑わい構想
4. 経済的評価

アジェンダ

1. 大阪湾の現状
2. 岸和田地蔵浜マルシェ構想
3. 泉佐野青空市場 浜の賑わい構想
4. 経済的評価

大阪湾エリアの現状 ～岸和田地蔵浜マルシェ～

岸和田地蔵浜では毎週日曜日に季節ごとの特産品や地元産の食材を使った料理を楽しむことができるマルシェが開催されているが、限定的な開催のため、より多くの観光客や地元の方々が日常的に訪れることができるような整備や体制づくりが必要である。



大阪湾エリアの現状 ～青空市場～

青空市場では、新鮮な魚介類の販売と活きの良い魚を味わえるレストランも併設しており、泉州の漁業をPRする市場として賑わいを見せているが、駅や関西国際空港からのアクセスも良いため、観光客向けの対策や整備を行い、交流が生まれる新たな名所となり得ると考えられる。



アジェンダ

1. 大阪湾の現状
2. 岸和田地蔵浜マルシェ構想
3. 泉佐野青空市場 浜の賑わい構想
4. 経済的評価

岸和田地蔵浜マルシェ構想



※ 画像はあくまでもイメージです。

岸和田地蔵浜マルシェ構想

岸和田漁港は新鮮な海産物の供給源であり、地元の漁業文化を体感できるイベントや毎週日曜に開催されるマルシェも賑わいを見せている中で、更なるコミュニティ創出や漁業資源の持続可能な利用を推進する拠点づくりを提案する。



岸和田地蔵浜マルシェ構想

マルシェ・飲食・BBQスペースの活用

- 地域の食文化を紹介するための常設型のマルシェの設置。



岸和田地蔵浜マルシェ構想

加工品製造ラボの整備(新設)

- ・地域の学生を巻き込み、加工品の新商品開発等を行うラボとして機能させる。
- ・未利用魚等を使った加工品(干物、燻製、レトルトパック等)や肥料を製造する研究棟も兼ねる。
- ・地元の漁業者と連携し、新鮮な魚介を原料に使用して付加価値を高める。
- ・ECサイトを整備し、地域ブランド商品として加工品の販売も行う。
- ・加工品や肥料等の製造とEC販売によって、漁業収益の多角化と安定化を図る。



岸和田地蔵浜マルシェ構想

地域交流の促進

- ・マルシェと加工品等の製造拠点を通じて、地元住民や学生と漁業者の交流の場を設け、コミュニティ形成を図る。
- ・イベントやワークショップを通じて、コミュニティを活用し地域住民と観光客との結びつきを強化する。
- ・WEB上でラボの加工品製造体験の予約受付や製造工程を見える化し、オンライン上での交流も盛んに行う。



岸和田地蔵浜マルシェ構想

教育・啓発活動

マルシェや加工品等の製造拠点での体験・支援プログラムを通じて、海の環境保護と持続可能な漁業の重要性を啓発、オンライン上でもプログラムを展開し、次世代の漁業・商業関係者の育成を推進。



岸和田地蔵浜マルシェ構想

ブランディングとマーケティング

- ・地域の特色を活かしたブランディング戦略を策定。
- ・オンライン販売やSNSを利用したプロモーション活動を展開。

LPやECサイトを活用したPR、販売



SNSを活用したPR



岸和田地蔵浜マルシェ構想 イメージ



※ 画像はあくまでもイメージです。

奥に加工品製造及び研究棟としての役割を担うラボ、手前がマルシェや飲食店舗(案)
特殊な魚や地域性のある魚を捌く体験や、新鮮な魚を食べられるプレミアムなマルシェ、
本当の漁師飯を味わえるお店など岸和田地蔵浜ならではの特徴を活かした施設とする。





マルシェとBBQテラスをL字型に配置

アジェンダ

1. 大阪湾の現状
2. 岸和田地蔵浜マルシェ構想
3. 泉佐野青空市場 浜の賑わい構想
4. 経済的評価

泉佐野青空市場 浜の賑わい構想



※ 画像はあくまでもイメージです。

泉佐野青空市場 浜の賑わい構想

地場の魚介類を活用した料理を提供する飲食店や、漁師の皆さんと直接交流できる体験スペースの他、起業家を応援する店舗、料理教室やイベント時に使用できる多目的ホール、展望テラスを設け、新鮮な魚介を通じて地域内外の交流が生まれる地域経済への貢献案を提案する。



泉佐野青空市場 浜の賑わい構想



青空市場とインキュベーション型飲食施設の併設及び複合施設化

- ・地元の新鮮な魚介類や農産物を販売する市場として店頭とEC販売サイトも整備し、機能させる。
- ・定期的に解体ショーや体験イベントを開催し、地元産品の魅力をアピール。
- ・新規飲食店や創業のための起業支援と地元の海産物を使ったメニュー開発・食文化の創造に貢献。

泉佐野青空市場 浜の賑わい構想

ICTの活用による市場の効率化とECを通じた販路拡大

- ・陸上量や市場に並ぶ魚の数をWEB上で把握できるようにする。
- ・WEB受取予約やECでの販売を行い廃棄を減らし、効率化を図る。
- ・まとまった数量を確保できる場合には首都圏向けの大きなロット数対応もできるように仕組み化する。
- ・急速冷凍技術を活用して廃棄や未利用魚を商品化する。
- ・海外向けのEC販売も整備し、空路を利用した海外販路の開拓を行う。



泉佐野青空市場 浜の賑わい構想

地域コミュニティとの連携

- ・地元住民や漁業者との交流を促進するイベントや漁港発の起業家支援体制を整える。
- ・地域の歴史や文化を紹介する展示スペースや料理教室・ワークショップ会場を設置し交流を促進する。



泉佐野青空市場 浜の賑わい構想

新規ビジネスの創出と雇用機会の増加

インキュベーション型飲食店施設は、新規起業家やシェフに新鮮な海産物を使用したビジネスチャンスを提供。

横丁と連携し、飲食に関連する新たな雇用機会を創出して地域経済活性化に貢献。

ICTを活用し、漁港ならではの立地や資源を活用した新たなビジネスが生まれやすい環境を整備。



泉佐野青空市場 浜の賑わい構想

食文化の振興と教育

- ・教育的な側面も備えることで、海洋資源の重要性や持続可能な消費についての啓発を行う。
- ・魚介類を通して食品安全、栄養学等に関する教育プログラムを提供し、次世代の意識向上を図る。



泉佐野青空市場 浜の賑わい構想

サステナビリティの推進

木材の再利用など、エコフレンドリーな設計と運営による環境へ配慮した複合施設として機能させる。



— SDGsの目標14 —
海の豊かさを守ろう



泉佐野青空市場 浜の賑わい構想

手前にバスステーション、1階部分に市場と飲食店街、2階に複合施設としての機能とテラスを設けた構想



※ 画像はあくまでもイメージです。

泉佐野青空市場 浜の賑わい構想



※ 画像はあくまでもイメージです。

アジェンダ

1. 大阪湾の現状
2. 岸和田地蔵浜マルシェ構想
3. 泉佐野青空市場 浜の賑わい構想
4. 経済的評価

経済的評価 ～経済的効果予測～

単位：100万円

厚岸と比較した場合の経済波及効果の予測

	直接効果	一次波及効果	うち所得増加	二次波及効果	波及効果計	GDP増加額
厚岸	2,948	3,724	1,933	1,770	5,494	2,822
岸和田	880	1,112	577	529	1,641	843
泉佐野	81	102	53	48	150	77

北海道厚岸漁港整備によるシナリオ通りの地域経済波及効果と同程度の影響が陸揚量(厚岸漁港: **17, 008.7 t**)に比例して発生すると仮定して計算

参考: 古屋他(2006)「漁港整備による地域経済波及効果の評価（厚岸地域産業連関表を用いた分析事例）」
『平成18年度 日本水産工学会 学術講演会』

経済的評価 ～経済的効果予測～

清水漁協の事例

食堂や直売所を運営

1990年度→売上2820万円

「しらす祭り」を開催

来場者：1万人未満

2007年→食堂オープン

2017年度→直売所や食堂での買取販売高は1億5,070万円

買取販売の事業総利益は6,200万円（利益率41.1%）

現在の「用宗漁港まつり」の来場者は5万人程度



経済的評価 ～経済的効果予測～

投じた費用に対してどれだけの利益を上げられるか示す指標では、仮置きで5億の投資の場合250%の効果があると推測できる。

- 売上 = 7億円(圏域陸揚げ金額計)
× 2(付加価値として陸揚げ金額の倍で販売)
= 14億円
- 利益 = 14億円(売上)
– ((14億円 ÷ 2)(仕入値を陸揚げ金額と仮定)
× 0.9)(廃棄されていたであろう漁獲量を仕入値から控除)
– (14億円 × 0.3)(売上の30%を販売経費とする)
= 14億円 – 6.3億円 – 4.2億円 = 3.5億円
- ROI = (累計利益 – 初期投資) / 初期投資
= (3.5億円 × 5年 – 5億円(初期投資として仮定)) / 5億円
= 2.5(250%)